



## ウエストパック銀行 2005年度 年次報告書要約

**Australia  
Head Office**

60 Martin Place  
Sydney NSW 2000  
Telephone: (61 2) 9293 9270  
Facsimile: (61 2) 9226 4128

\*この日本語版年次報告書は英語版の抄訳です。英語版をご希望の方は下記にご請求下さい。  
三菱UFJ信託銀行 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 TEL.03-5391-1900 (代)

また当行のインターネットホームページで完全な財務報告にアクセスすることも可能です。  
URLアドレスは

[www.westpac.com.au](http://www.westpac.com.au)

ABN 33 007 457 141

また昨年ご報告したように、ニュージーランドの重要な業務をシステム的に結合する作業を続けており、今後12-18ヵ月で完了する予定です。

#### 将来を見すえて

世界経済はほぼ順調に拡大していますが、自然災害、原油価格の高騰、周期的なテロ攻撃など予期せぬマイナス要因のために、世界的な景気拡大は緩やかなものとなっています。

オーストラリアでは、輸出増加、高水準の続く設備投資、構造改革による成果から、2006年のGDP成長率は約3.4%（2005年は2.5%）に上昇する見込みです。失業率は約5%を維持するでしょう。

ニュージーランド経済の見通しにはやや陰りが見られます。移民は緩やかに増加するものの、住宅市場は最近ピークをすぎ、景況感も下がっています。この結果、2006年のGDP成長率は2%になるものと見込まれ、2005年の予測成長率2.4%から減速傾向が強まる見通しです。

金融部門では引き続き競争が激しく、利ざや縮小のプレッシャーが強まるでしょう。同時にコンプライアンスに関わるコストは、バーゼルⅡ銀行協定、サーベンス・オクスリー法、当行のニュージーランド部門合併、反マネーロンダリング規定との関連で高水準にとどまるでしょう。

#### 確信に満ちた将来

当行を取り巻く環境は様々ですが、グループ内で進行している拡大と生産性に関わる多くのイニシアチブから、今後も収益は拡大すると予想しています。

取締役会は、当行が来年もステークホルダーの皆様で確固たる結果をお届けできる地位にあると確信しています。

この確信は、ウエストパックスのコミュニティを構成する職員の強みと多様性に基いています。顧客に代わり、職員と共に働き、彼らの献身と支持を共有できることは光栄であると申し上げるとともに、職員のためめぬ努力に感謝いたします。

会長  
レオン・エー・デイビス  
Leon A. Davis  
Chairman

当行はこれら無形資産の全価値を市場に示し、当行の持続的価値をより正確に把握する新たな数的指標を採用するように働きかけています。

問題は、金融会計の枠組や原則がこのような無形資産の価値を認めていない点です。しかし当行のようなサービス企業では、人材や知的資本などの無形資産が最も重要です。当行はこの無形価値を把握するべく、広範な業績管理報告を開発するイニシアチブを導入しつつあります。

この観点から、ウエストパックスは過去4年間にステークホルダー・インパクト・レポートを毎年発行し、主要な無形資産価値について詳細な業績情報を掲載しています。たとえば、現在および将来にわたり職員をどのように指導し、顧客の財務的要求の達成にどの程度関わっているかなどの指標を提供しています。職員の採用および教育に毎年数千万豪ドルを費やしていますので、好ましい職員を育成し離職率を低く抑えることは収益と持続力を高める重要な要素です。

また当行は定期的に業績を第三者機関に評価、格付けさせています。ウエストパックスはダウジョーンズ「持続力指数」で、4年連続で世界のリーディングバンクに選ばれました。これはすばらしい実績であり、高い信頼を得ることになりました。

#### 職員と変更点

昨年の会長報告で述べましたように、ルー・エドワーズ卿（Sir Llew Edwards）が昨年の年次株主総会で退任いたしました。エドワーズ卿の退任を除くと、取締役会に変更はありませんでした。特筆すべき変更は、ヘレン・リンチ（Helen Lynch）が昨年11月、「取締役会企業責任・持続力委員会」議長に就任したことです。ヘレンの経験を活かし、エドワーズ卿からこの重要な役割を引き継ぐことができたのは非常に幸運でした。

デイビッド・クラークの辞任に伴い、ロブ・クーム（Rob Coombe）が2月にBTフィナンシャルグループのグループ・エグゼクティブに就任しました。クームはBTの流通部門を率いる重要な役職にありました。またグループ内の経験を広げるため、最高財務責任者のフィリップ・クロニカン（Philip Chronican）が12月1日付でインスティテューショナルバンクのグループエグゼクティブに、インスティテューショナルバンクのグループエグゼクティブだったフィル・コフィー（Phil Coffey）が最高財務責任者に異動しました。また、ロブ・ホイットフィールド（Rob Whitfield）は、チーフ・リスクオフィサーとしてエグゼクティブ・チームに参加します。

社内体制の面では、ヘースtings・ファンド・マネジメント株式の残り49%を取得しつつあり、2005年10-12月期およびリスク管理能力などから成り立っています。

えると、今年度の年間配当は100豪セントとなり、前年度を16%上回りました。この結果、配当性向は前年の62%から64%に上昇しました。

利益も引き続き強固で、株主資本現金利益率は21%、株主資本利益率は20%を維持しました。

時価総額でみた2005年の自己資本は22%増の70億豪ドルとなりました。株価動向と配当を考慮しますと、当行の株主利益率は過去5年間に年平均15%増加しています。

#### 健全な体制

このような業績は、好調の続くオーストラリア・ニュージーランド経済 - 低いインフレ率と失業率、企業の低調なギアリング - の恩恵を受けているのは間違いないでしょう。

この環境は資産の質にもプラスになっており、資本および一般貸倒引当金に対する不良資産の比率は5年前の5.4%から1.6%に低下しました。また想定されるリスクに対する引当金を引き続き慎重に計上した結果、貸付金および支払保証の総額に対する貸倒引当金の比率は0.9%を維持しています。

重要なのは、ウエストパックスの資本基盤が非常に強固になっている点です。オーストラリア税制の改正がニュージーランド・クラス株式の課税措置に影響を及ぼしたことから、当行はニュージーランド・クラス株式を当行の普通株式と交換する権利を行使しました。これにより2005年7月11日、ニュージーランド株式市場に当行の普通株式52.5百万株が新規上場されました。

9月30日現在、ティア1自己資本率は目標水準の6.0%6.75%を大きく上回る7.2%となっています。また調整普通株式比率は5.4%で、目標とする4.5%5.0%を超えています。

強固な資本と国際財務報告基準の動向に関連してオーストラリアン・プルデンシャル・レギュレーション・オーソリティが資本措置をさらに明確にすることを考慮し、当行は2005年11月2日、約7億豪ドルの株式を買い戻す意向を発表しました。市場外の買戻しは適格株主に11月下旬通知され、2005年12月19日に完了する予定です。

どのような角度から見ても業績は好調ですが、当行の将来性と高い意欲を考えますと大いに改善の余地があります。

#### 真の価値を明らかに

ステークホルダーの利益に応えるビジネス慣行を通じて価値を創造することに話を戻します。簡単に言いますと、ウエストパックスの市場価値の約70%はいわゆる無形資産、すなわち顧客関係、職員の忠誠と貢献、ガバナンスおよびリスク管理能力などから成り立っています。

私が会長を務めたこの5年間は、素晴らしい実り豊かな旅となりました。2001年年次報告書で顧客とより広範なコミュニティの要求を認識し、その利益に最大限に応えることをビジネスの基本とするとご報告して以来、ウエストパックスにとっては長い道のりでした。

新しい発想が求められ、当行はステークホルダーの利益に応えるために、職員の信頼を懸命に築いてきました。

この努力は報われ、ウエストパックスは発展を遂げてきました。同時に当行は、ステークホルダーの利益を最優先させるビジネス慣行を通じて価値を創造する世界的リーダーとして広く認知されています。この点については、後ほど詳しくご説明します。

#### 真の進歩を裏づける明らかな証拠

最初に、業績こそが当行が達成した真の進歩を最も明らかに示すものである、と申し上げたいと思います。

あらゆる面で、2005年もウエストパックスにとって特別な年となりました。税引後利益は前年度比11%増加し、過去最高の2,818百万豪ドルとなり、1株当たり利益は12%増の145豪セントとなりました。

現金収入も市場の予測を上回る12%増の2,874百万豪ドルとなりました。

このような好業績は収益を10%拡大しつつ、経費の伸びを4%に抑えることによって達成できました。これにより業務基礎利益は16%増と大幅に拡大しました。

この結果、収益に対するコストの比率を、昨年の49.2%から46.6%に下げることができました。すなわち当行は、収益1豪ドルにつき53.4豪セントの利益（10年前はわずか39.5豪セント）を確保していることとなります。

またすべての営業部門が素晴らしい業績を誇り、高収益を達成しました。重要なのは、オーストラリアのリテールバンキング部門で現金収入が15%増加している点で、当行が正しい軌道にあることを確信させてくれます。

#### 株主の皆様への利益還元

このような好業績と将来への確信から、取締役会は普通株式1株当たり51豪セント（完全非課税）の期末配当を決定しました。中間配当49豪セント（完全非課税）を加

**2005年も、  
ウエストパックスにとって  
特別な年となりました。  
税引後利益は前年度比**

**11%  
増加し、  
過去最高の  
2,818百万豪ドルに  
達しました。**

**違いは信頼です。**

ウエストパックス銀行は、今年度過去最高益をさらに更新しました。金融、社会、環境の3本柱の持続力に重点を置くことによって、ウエストパックスがステークホルダーの利益に一層応えると同時に、より弾力的で長期的な成長を遂げてきたかを、レオン・デイビス会長が説明します。

## 財務書類

## 損益計算書

**損益計算書**
  9月30日終了事業年度

ウエストバック銀行およびその子会社

	注記	連 結			当行(親会社)	
		2005 百万豪ドル	2004 百万豪ドル	2003 百万豪ドル	2005 百万豪ドル	2004 百万豪ドル
受取利息	3	15,113	12,939	10,885	15,703	12,601
支払利息	3	(9,868)	(8,184)	(6,559)	(11,070)	(8,339)
純利息収益		5,245	4,755	4,326	4,633	4,262
利息以外の収益	4	3,560	3,255	3,004	2,546	2,568
業務収益		8,805	8,010	7,330	7,179	6,830
業務費用	5	(4,105)	(3,940)	(3,763)	(3,846)	(3,577)
営業権償却費		(168)	(164)	(163)	(99)	(98)
貸倒引当金繰入額	13	(382)	(414)	(485)	(431)	(410)
<b>税引前経常利益</b>		4,150	3,492	2,919	2,803	2,745
法人税等	6	(1,222)	(913)	(728)	(650)	(646)
<b>当期利益</b>		2,928	2,579	2,191	2,153	2,099
少数株主に帰属する当期利益:						
投資運用制度		(90)	(30)	-	-	-
その他		(20)	(10)	(8)	-	-
<b>ウエストバック銀行株主に帰属する 当期利益</b>		2,818	2,539	2,183	2,153	2,099
外貨換算積立金調整額		(98)	(11)	(156)	(145)	(26)
<b>ウエストバック銀行株主に帰属し、株主持分に 直接認識される収益、費用および 評価調整額合計</b>		(98)	(11)	(156)	(145)	(26)
<b>所有者との取引以外で生じた株主持分の 増減額合計</b>		2,720	2,528	2,027	2,008	2,073
<b>その他エクイティ商品に係る分配控除後の普通株式 1株当たり利益(豪セント)</b>	1 (h)vi, 8					
基本的		144.8	129.2	115.6		
完全希薄化後		143.3	127.7	115.3		

添付の注記1〜44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。

米国において一般に公正妥当と認められた会計原則(以下「US GAAP」という。)が適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語訳脚注:当年次報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1〜45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

## 貸借対照表

**貸借対照表**
  9月30日終了事業年度

ウエストバック銀行およびその子会社

	注記	連 結		当行(親会社)	
		2005 百万豪ドル	2004 百万豪ドル	2005 百万豪ドル	2004 百万豪ドル
<b>資産</b>					
現金および中央銀行預け金		1,844	1,800	1,630	1,599
他の金融機関に対する債権	9	10,896	9,538	9,046	7,967
商品有価証券	10	9,399	9,698	9,696	9,325
投資有価証券(連結ベースの時価は2,586百万豪ドル、2004年度は3,846百万豪ドル)	11	2,428	3,714	656	1,634
貸付金	12	195,589	182,471	192,641	175,498
支払承諾見返		4,864	5,534	5,143	5,786
生命保険に関する資産		13,740	12,957	-	-
海外における中央銀行への法定準備預金		347	523	325	504
子会社債権		-	-	17,449	24,212
子会社に対する投資	38	-	-	5,514	5,663
営業権	15	2,290	2,394	1,119	1,230
固定資産	16	839	1,445	712	660
繰延税金資産	17	945	838	933	811
グループ間の税金関連債権		-	-	151	136
その他の資産	18	16,572	14,167	14,979	12,834
<b>資産合計</b>		259,753	245,079	259,994	247,859
<b>負債</b>					
他の金融機関に対する債務	19	10,654	7,071	7,016	4,921
預金	20	149,454	146,533	149,052	146,151
発行済債券	24	41,771	36,188	22,559	23,138
支払承諾		4,864	5,534	5,143	5,786
未払法人税等	21	317	1	316	11
繰延税金負債	21	267	110	273	113
グループ間の税金関連債務		-	-	82	31
生命保険契約債務		11,722	10,782	-	-
子会社債務		-	-	38,543	31,651
引当金	22	415	427	369	378
その他の負債	23	18,863	17,685	17,245	16,792
<b>借入資本を除く負債合計</b>		238,327	224,331	240,598	228,972
<b>借入資本</b>					
劣後債	24	3,702	3,885	3,702	3,885
無期劣後債	24	512	546	512	546
<b>借入資本合計</b>		4,214	4,431	4,214	4,431
<b>負債合計</b>		242,541	228,762	244,812	233,403
<b>純資産額</b>		17,212	16,317	15,182	14,456
<b>株主持分</b>					
当行(親会社)の持分:					
普通株式	25	5,296	4,234	5,296	4,234
積立金		(181)	(83)	(222)	(73)
利益剰余金		8,777	7,812	7,636	7,312
転換社債	25	-	-	2,472	2,472
無期キャピタル・ノート	25	-	-	-	511
<b>当行(親会社)の持分合計</b>		13,892	11,963	15,182	14,456
その他の株主持分:					
ニュージーランド・クラス株式	25	-	453	-	-
固定利付再設定信託証券(FIRsTS)	25	655	655	-	-
信託優先証券(2003年度TPS)	25	1,132	1,132	-	-
信託優先証券(2004年度TPS)	25	685	685	-	-
<b>その他の株主持分合計</b>		2,472	2,925	-	-
<b>ウエストバック銀行株主に帰属する 株主持分合計</b>		16,364	14,888	15,182	14,456
少数株主持分:					
投資運用制度		826	1,408	-	-
その他		22	21	-	-
<b>株主持分合計</b>		17,212	16,317	15,182	14,456
偶発債務、偶発資産および契約債務	34				

添付の注記1〜44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。

US GAAPが適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語訳脚注:当年次報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1〜45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

### 財務書類

## キャッシュ・フロー計算書

**キャッシュ・フロー計算書**
  9月30日終了事業年度

ウエストバック銀行およびその子会社

	注記	連 結			当行(親会社)	
		2005 百万豪ドル	2004 百万豪ドル	2003 百万豪ドル	2005 百万豪ドル	2004 百万豪ドル
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>						
利息受取額		15,050	12,835	10,809	15,605	12,497
利息支払額		(9,613)	(7,929)	(6,603)	(11,000)	(8,153)
配当金受取額(生命保険を除く)		33	34	36	329	340
利息以外の受取額		3,322	4,648	4,169	1,526	3,864
業務費用支払額		(3,982)	(3,593)	(3,318)	(3,844)	(3,274)
商品有価証券の純(増)減		(334)	(135)	1,759	(1,001)	206
法人税等支払額(生命保険を除く)		(751)	(1,106)	(1,131)	(452)	(957)
生命保険:						
保険契約者および顧客からの入金		2,670	2,895	2,958	-	-
利息その他類似の項目		119	95	119	-	-
配当金受取額		706	320	379	-	-
保険契約者およびサプライヤーへの支払		(2,563)	(2,390)	(3,025)	-	-
法人税等支払額		(94)	(180)	(60)	-	-
<b>営業活動から得た現金・預金(純額)</b>	43	4,563	5,494	6,092	1,163	4,523
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>						
投資有価証券の売却による収入		130	73	189	130	73
投資有価証券の満期償還による収入		1,564	639	1,260	1,201	379
投資有価証券の購入		(598)	(655)	(2,114)	(323)	(132)
貸付金証券化による収入		2,209	241	247	2,209	241
純(増)減:						
他の金融機関に対する債権		(1,151)	(3,486)	(698)	(878)	(3,425)
貸付金		(14,492)	(24,505)	(25,942)	(18,625)	(22,848)
生命保険に関する資産		(37)	(61)	(186)	-	-
海外における中央銀行への法定準備預金		209	(74)	(58)	211	(70)
子会社債権		-	-	-	9,227	(4,643)
子会社に対する投資		-	-	-	600	(7)
その他の資産		(655)	(1,994)	(1,497)	(31)	(976)
固定資産の購入		(338)	(284)	(323)	(316)	(259)
固定資産の売却による収入		25	90	85	16	36
その他の投資の売却による収入		41	22	8	40	22
子会社からの資本の送金による収入		-	-	-	-	36
子会社の取得(取得現金控除後)	43	-	(547)	(823)	-	-
子会社および事業の売却(譲渡現金控除後)	43	545	165	360	-	118
<b>投資活動に使用した現金・預金(純額)</b>		(12,548)	(30,376)	(29,492)	(6,539)	(31,455)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>						
借入資本の発行		1,401	500	1,679	1,401	500
借入資本の償還		(1,396)	(485)	(978)	(1,396)	(485)
普通株式の発行による収入		191	110	87	191	110
FIRsTSの発行による収入(発行費12百万豪ドル控除後)		-	-	655	-	-
2003年度TPSの発行による収入(発行費13百万豪ドル控除後)		-	-	1,132	-	-
2004年度TPSの発行による収入(発行費8百万豪ドル控除後)		-	685	-	-	685
無期キャピタル・ノートの償還		-	-	-	(511)	-
普通株式の買戻し		-	(559)	-	-	(559)
ニュージーランド・クラス株式の買戻し		(1)	(18)	-	-	-
TOPrsの償還		-	(446)	-	-	(446)
純増(減):						
他の金融機関に対する債務		3,293	3,182	(695)	1,948	1,692
預金		1,587	18,451	19,384	1,556	18,016
発行済債券		3,719	5,178	3,658	(1,979)	3,949
子会社債務		-	-	-	4,428	4,822
その他の負債		664	(330)	(368)	1,179	(38)
配当金および分配金の支払		(1,433)	(1,362)	(1,038)	(1,413)	(1,352)
少数株主に対する配当金の支払		(3)	(6)	(2)	-	-
<b>財務活動から得た現金・預金(純額)</b>		8,022	24,900	23,514	5,404	26,894
現金・預金および現金等価物の純増(減)額		37	18	114	28	(38)
現金・預金および現金等価物の為替相場変動による影響額		7	(4)	3	3	(6)
現金・預金および現金等価物の期首残高		1,800	1,786	1,669	1,599	1,643
<b>現金・預金および現金等価物の期末残高</b>		1,844	1,800	1,786	1,630	1,599

営業活動から得た現金・預金(純額)とウエストバック銀行株主に帰属する当期利益との調整は注記43において詳述されている。添付の注記1〜44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。

US GAAPが適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語版脚注:当年次報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1〜45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

## ウエストバック銀行の株主に対する独立監査報告書

### 監査意見

私どもの意見によれば、ウエストバック銀行の財務報告は、

- ・ オーストラリアの2001年会社法に規定されているとおり、ウエストバック銀行およびウエストバック銀行グループ（以下に定義）の2005年9月30日現在の財政状態および同日に終了した事業年度の業績について、真実かつ公正な概観を与えており、
- ・ オーストラリアの2001年会社法、会計基準および財務報告に関するその他の法規、ならびに2001年会社規制法（the Corporations Regulations 2001）に準拠して表示されている。

この監査意見は、私どもの監査報告書の以下の部分とともに読まれなくてはならない。

### 範囲

#### 財務報告書および取締役の責任

財務報告は、ウエストバック銀行（以下「ウエストバック」という。）およびウエストバック銀行グループ（以下「グループ」という。）の2005年9月30日に終了した事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主持分変動表およびキャッシュ・フロー計算書、財務書類注記、ならびに取締役の宣言で構成される。グループは、ウエストバックおよび当事業年度におけるウエストバックの子会社によって構成される。

ウエストバックの取締役は、2001年会社法に準拠した財務報告の作成および真実かつ公正な表示についての責任を負っている。これには、適切な会計記録、ならびに不正および誤謬を防止し、発見することを目的とした内部統制の維持、また当財務報告に固有の会計方針および会計上の見積りについての責任が含まれる。

#### 監査アプローチ

私どもは、ウエストバックの株主に対して意見を表明するために、独立した監査を実施した。私どもの監査は、財務報告に重要な虚偽表示がないことについて合理的な確証を得るために、オーストラリアの監査基準に準拠して実施された。監査の性質は、専門家の判断の利用、試査、内部統制に固有の制限、ならびに絶対的ではないが相当程度の証拠の入手可能性といった要素によって影響される。そのため、監査によってすべての重要な虚偽表示が発見されると保証することはできない。監査のより詳細な説明については、当社のウェブサイト<http://www.pwc.com/au/financialstatementaudit>を参照のこと。

オーストラリアの2001年会社法、会計基準および財務報告に関するその他の法規に準拠して、財務報告がすべての重要な点に関して公正な概観を与え、ウエストバックおよび当グループの財政状態ならびに経営成績およびキャッシュ・フローに示される業績に関する私どもの理解に一致しているかどうかを評価するために、私どもは手続を実施している。

私どもは以下の手続きに基づいて、私どもの監査意見を形成している。

- ・ 財務報告の金額および開示を裏付ける証拠を提供する情報についての試査による検証。
- ・ 適用されている会計方針および開示の適正性ならびに取締役が行った重要な会計上の見積りの合理性に対する評価。

私どもの手続きには、当財務報告との重要な矛盾点がないかどうかを判断するために年次報告書中のその他の情報を読むことが含まれる。

私どもの手続きの性質および範囲を決定する上で、私どもは財務報告に対する経営陣による内部統制の有効性を検討したが、私どもの監査は内部統制に対して保証を提供することを目的としていない。

私どもの監査には取締役もしくは経営陣が行った事業判断についての慎重性の分析は含まれない。

### 独立性

私どもの監査の実施にあたり、私どもはオーストラリアの職業倫理基準および2001年会社法のうち該当する独立性の要件に従っている。

プライスウォーターハウスクーパース

D.H. アームストロング  
パートナー

シドニー、オーストラリア  
2005年11月2日

責任はプロフェッショナル・スタンダード法（Professional Standards Legislation）で認められた範囲に限定される。

## ウエストバック銀行の取締役会および株主に対する独立登録会計事務所の報告書

私どもの意見によれば、添付の連結貸借対照表、関連する連結損益計算書、キャッシュ・フロー計算書および株主持分変動表は、ウエストバック銀行およびその子会社の2005年および2004年9月30日現在の財政状態ならびに2005年9月30日に終了した3年間の各事業年度の経営成績およびキャッシュ・フローについて、オーストラリアの2001年会社法、会計基準、その他の開示に関する専門的法規および2001年会社規制法（the Corporations Regulations 2001）に準拠して、すべての重要な点に関して公正な概観を与えている。当該財務書類は、ウエストバック銀行の経営陣の責任であり、私どもの責任は、私どもの監査に基づいて、当該財務書類に対する意見を表明することである。私どもは、オーストラリアにおいて一般に公正妥当と認められた監査基準および公開企業会計監視委員会（米国）の基準に準拠して、当該財務書類の監査を実施した。これらの基準では、財務書類に重要な虚偽表示がないことについて合理的な確証を得るために私どもが監査を計画し実施するよう求めている。監査には、財務書類の金額および開示を裏付ける証拠の試査による検証、適用されている会計方針および経営陣による重要な見積りの評価、財務書類の全体的表示の評価が含まれる。私どもは、私どもの監査が、私どもの意見に関して合理的基礎を提供するものと考えている。

オーストラリアにおいて一般に公正妥当と認められた会計原則は、いくつかの重要な点に関して、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則とは異なる。こうした相違の性質および影響に関する情報は、連結財務書類の注記45に記載されている。

プライスウォーターハウスクーパース  
シドニー、オーストラリア

2005年11月2日

責任はプロフェッショナル・スタンダード法（Professional Standards Legislation）で認められた範囲に限定される。